



## 2021年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月2日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社  
 コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 武治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 木村 浩一  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福  
 TEL 093-372-9215

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年11月期第1四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	797	9.1	162		140		103	
2020年11月期第1四半期	731	2.3	314		286		259	

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 99百万円 ( %) 2020年11月期第1四半期 298百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	60.23	
2020年11月期第1四半期	149.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	12,060	8,681	72.0
2020年11月期	12,587	8,815	70.0

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 8,681百万円 2020年11月期 8,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期		0.00		20.00	20.00
2021年11月期					
2021年11月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,368	13.6	145		180		120		69.67
通期	6,977	9.7	210	42.7	280	11.1	190	49.4	110.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年11月期1Q	1,793,000 株	2020年11月期	1,793,000 株
期末自己株式数	2021年11月期1Q	80,183 株	2020年11月期	80,173 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年11月期1Q	1,712,820 株	2020年11月期1Q	1,728,347 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間および当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度および前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が再発令され、景気や雇用情勢が悪化したしました。緊急事態宣言解除後は緩やかに経済活動が再開したものの、未だ収束時期が見通せないことから先行き不透明な状況で推移しております。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループの事業環境につきましては、原子力発電では柏崎刈羽原子力発電所において安全対策の不備が原子力規制委員会より指摘され、再稼働時期が一段と不透明になりました。また、火力発電では世界的な「脱炭素」の潮流を受け、国内外の企業が石炭火力発電事業からの撤退を表明するなど、依然として厳しい環境が続いております。

このような事業環境の中、バルブ製造販売部門では、川内原子力発電所3号機、4号機向けの特重大事故等対処施設用弁や西条発電所1号機向け、島根原子力発電所2号機向けなど、国内発電所向けの販売が中心となりました。しかしながら、大型案件が無かったことおよび前年同期と比較して海外向けの販売が減少したことにより、業績は低調に推移いたしました。

メンテナンス部門では、柏崎刈羽原子力発電所の耐圧試験助勢や松島火力発電所における給水弁補修工事、玄海原子力発電所4号機の電動弁診断などを中心に売上高が堅調に推移したことから、前年同期と比べて増収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は797百万円（前年同期比9.1%増）となりました。また、利益面につきましては、バルブ製造販売部門における売上高の絶対量が不足した影響から、営業損失162百万円（前年同期は営業損失314百万円）、経常損失140百万円（前年同期は経常損失286百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失103百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失259百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ527百万円減少し、12,060百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が684百万円、仕掛金が332百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,550百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ393百万円減少し、3,378百万円となりました。この主な要因は、買掛金が223百万円、未払費用が97百万円、長期借入金が55百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ134百万円減少し、8,681百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が137百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降におきましては、バルブ製造販売部門ではバングラデシュやベトナムなど海外火力プラント向けの大型案件のほか、島根原子力発電所2号機、3号機向けなどの売上を予定しております。メンテナンス部門では、柏崎刈羽原子力発電所7号機向け起動前点検および設備設置工事などを予定していることから、売上高および利益面ともに期末にかけて改善していくものと見込んでおります。従いまして、現時点では2021年1月13日に公表いたしました第2四半期および通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は今後の受注環境や顧客納期の変更、新型コロナウイルスによる調達品への影響等、様々な要因により変動する可能性を含んでおります。今後の経過を注視しつつ、開示すべき事象が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,512	4,196
受取手形及び売掛金	3,454	1,904
製品	129	127
仕掛品	1,030	1,362
原材料	129	140
その他	82	61
流動資産合計	8,339	7,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,543	1,539
機械装置及び運搬具(純額)	1,552	1,489
その他(純額)	314	320
有形固定資産合計	3,410	3,348
無形固定資産	41	39
投資その他の資産		
投資有価証券	469	485
繰延税金資産	238	284
その他	91	111
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	796	878
固定資産合計	4,248	4,266
資産合計	12,587	12,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	441	218
1年内返済予定の長期借入金	312	312
未払費用	200	102
未払法人税等	64	15
賞与引当金	27	57
その他の引当金	105	78
その他	178	200
流動負債合計	1,330	984
固定負債		
長期借入金	1,773	1,718
役員退職慰労引当金	37	39
退職給付に係る負債	630	636
固定負債合計	2,441	2,394
負債合計	3,772	3,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,286	1,286
資本剰余金	543	543
利益剰余金	7,194	7,056
自己株式	△250	△250
株主資本合計	8,773	8,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	7
退職給付に係る調整累計額	38	37
その他の包括利益累計額合計	41	45
純資産合計	8,815	8,681
負債純資産合計	12,587	12,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
売上高	731	797
売上原価	789	749
売上総利益又は売上総損失(△)	△57	48
販売費及び一般管理費		
役員報酬	44	21
給料手当及び賞与	70	68
賞与引当金繰入額	10	10
退職給付費用	4	3
役員退職慰労引当金繰入額	4	1
減価償却費	5	4
その他	118	99
販売費及び一般管理費合計	257	210
営業損失(△)	△314	△162
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取賃貸料	7	6
持分法による投資利益	13	8
その他	10	9
営業外収益合計	33	27
営業外費用		
支払利息	1	1
減価償却費	0	0
その他	2	3
営業外費用合計	4	5
経常損失(△)	△286	△140
特別利益		
受取補償金	5	—
特別利益合計	5	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△280	△140
法人税、住民税及び事業税	3	10
法人税等調整額	△24	△47
法人税等合計	△21	△37
四半期純損失(△)	△259	△103
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△259	△103

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純損失(△)	△259	△103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	5
退職給付に係る調整額	△5	△1
その他の包括利益合計	△39	3
四半期包括利益	△298	△99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298	△99
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大により、依然として経済活動が本格的な回復には至っていない状況を鑑み、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、当第1四半期連結会計期間においても変更は不要と判断しております。

なお、受注状況の回復を仮定し行った、繰延税金資産の回収可能性および固定資産の減損等の会計上の見積りは、将来における実績値に基づく結果と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

当社グループは「バルブ事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは従来、セグメント情報における報告セグメントを「バルブ事業」および「メンテナンス事業」の2つとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「バルブ事業」に変更しております。

この変更は、設計・製造・メンテナンスというバルブのライフサイクルにおける管理を行う上で、当社グループが特殊仕様の製品を製造し、納品後のメンテナンス作業まで一貫して行う実態を鑑みると、「バルブ事業」と「メンテナンス事業」は本質的に一体化しており、両事業を統合して一体管理することが当社の状況を適切に把握できると判断したためであります。

また、当社グループは「バルブ事業」を主要な事業としておりますが、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。